

Electric Guitar/Electric Bass/Acoustic Guitar/Classic Guitar

Produced by ARIA

Owners Manual

この度は当社製品をお買い求めいただき、誠に有難うございます。末長くお使いいただくためにも、本冊子を充分にお読みいただくようお願い申し上げます。不適切な取扱いに起因する本体の破損や健康上の影響について、当社はその責を負いかねます。

使用上のご注意

【健康上のご注意】

1. 分解、改造、修理をしない

ギターの分解、改造、修理は故障の原因となり、感電の恐れがあります。

2. 湿気の多い場所では使わない

水気、湿気の多い場所で使用すると感電する恐れがあります。風呂場、雨の日の野外などで使用しないで下さい。また濡れた手で電源プラグやケーブルを扱わないでください。感電、ショート、火災の原因になります。

3. 乾電池は正しく使用する

古くなった乾電池を入れたままにしておく、液もれ、破損の原因になります。また、乾電池を火の中に捨てないでください。破裂しケガをする恐れがあります。

4. フレットのエッジでのケガに注意

ネックの乾燥により、フレットのエッジが指板からはみ出す場合があります。手などにケガをする恐れがありますのでご注意ください。

5. 弦に顔を近づけない

演奏や弦のチューニング・交換の際は弦に顔を近づけないでください。弦が切れてケガをする場合があります。目に接触すると場合によっては失明の恐れがあります。また必要以上に強く弦を張ると、弦が切れてケガをする恐れがありますのでご注意ください。

6. さびた弦を使わない

弦がさびた状態のまま使用すると、指を切ってケガをする恐れがあります。早急に新しい弦と交換してください。

7. 弦で指を傷付けないよう注意する

弦の先端の切断面は非常に鋭くなっているため、手にケガをする恐れがあります。チューニング時やクロスで本体を拭く時には、弦の先端に手が触れないよう注意してください。

8. トレモロに指をはさまないように注意する

エレキギターのトレモロは非常に強いバネを使用しています。トレモロとボディの間に指などをはさむと、ケガをする恐れがあります。

9. ストラップはしっかりと取り付ける

ストラップを使用する場合、しっかりとストラップピンに取り付けてください。外れるとギターが足の上などに落ちてケガをする恐れがあります。また、ギターを振り回すとギターがストラップからはずれて落下したり、周囲の人に当たってケガをさせる危険があります。

10. ピックガードのエッジでのケガに注意

ピックガードを使用しているモデルでは、エッジの部分がシャープな形状になっているものがあります。演奏の際やクロスでボディを拭くときなど、手をケガしないよう注意してください。

【本体の取扱い上のご注意】

1. 高温・多湿な場所で保管しない

自動車の中やストーブの近くなど極端な温度の場所、または水気、湿気の多い場所を避けて保管してください。長時間環境の悪い所に放置すると、塗装割れ・ネック反り、ボディの割れの故障を起こすことがあります。また、温度・湿度の急激な変化を避けて保管してください。

2. 電源プラグ、ケーブルの扱いに注意する

ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って行ってください。故障の原因となります。

3. ギターのふき取り

楽器表面のふき取りには、ギター専用のポリッシュをご使用ください。このとき、周囲の火気には十分注意してください。シンナーやベンジンを使用しますと塗装やピックガードを傷め、変質したり変色したりすることがありますので、使用しないでください。

ギターの塗装によって、使用上不適当なポリッシュがあります。お買い上げになった小売店などからアドバイスを受けてください。ラッカー塗装がされたギターは、ケースに収納する際やスタンドに置く際に、塗装をいためないよう注意して取り扱ってください。

4. ギターを持ち運ぶときの注意

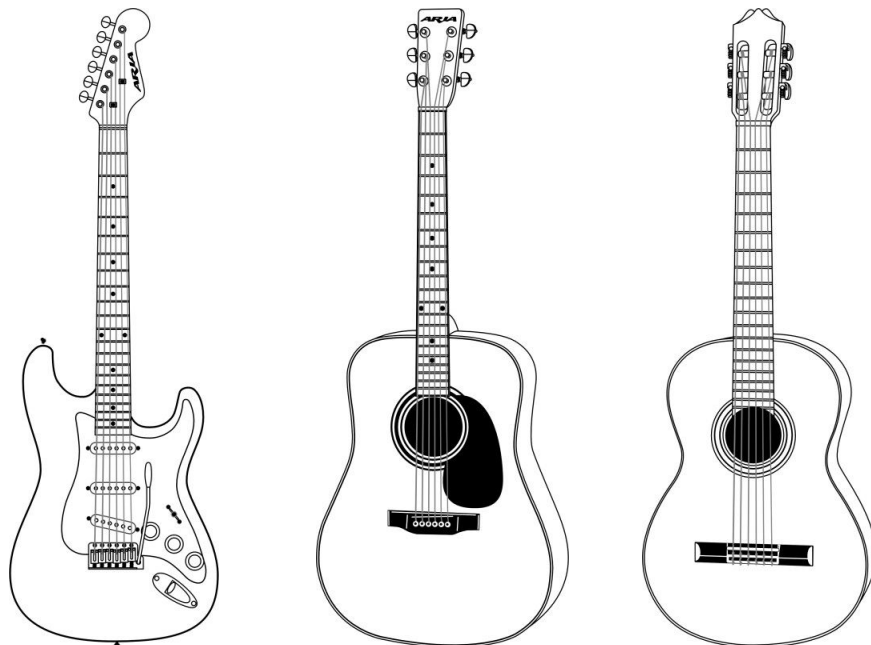
楽器をバッグで持ち運ぶときにはファスナーがしっかりと縫われており、またケースの場合には止め金がしっかりとかかっていることを確認してください。落下するとケガをしたり本体を破損する恐れがあります。また、バッグのファスナーやケースのフタで指をはさんでケガをすることがありますので、取扱いには十分に注意してください。

5. ギターを家具などに立てかけない

使用しないときはケースまたはバッグに入れて保管してください。一時的に楽器を演奏しない時は、ギタースタンドを使用してください。落下、転倒するとギター本体や家具などを破損する恐れがあります。またギターを直接家具などに長時間立てかけると、表面の塗装が溶けたり色移りする場合がありますのでご注意ください。

各部の名称

ヘッド
 ベグ(糸巻)
 ネック
 ナット
 指板
 フレット
 ポジションマーク
 ボディ
 ストラップピン
 ピックガード
 フロントピックアップ
 センターピックアップ
 リアピックアップ
 アーム
 レバースイッチ
 コントロールノブ
 ブリッジ
 アウトブットジャック
 エンドピン
 表板
 側板
 裏板
 サウンドホール
 サドル



チューニングの合わせ方

[実音による方法]

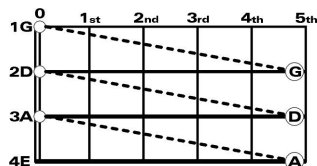
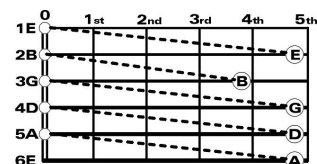
最初は実音でチューニング合わせ、ハーモニクスはそのあとの微調整のために使うのが良いでしょう。

●最初にギターでの第5弦の開放音を A440 Hzに音叉・チューナーなどを使って合わせます。

- ①第5弦の開放と第6弦の第5フレット(6E)
- ②第4弦の開放と第5弦の第5フレット(4D)
- ③第3弦の開放と第4弦の第5フレット(3G)
- ④第2弦の開放と第3弦の第4フレット(2B)
- ⑤第1弦の開放と第2弦の第5フレット(1E)

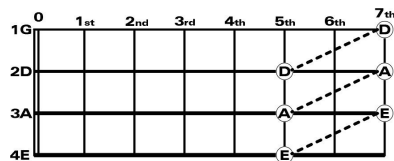
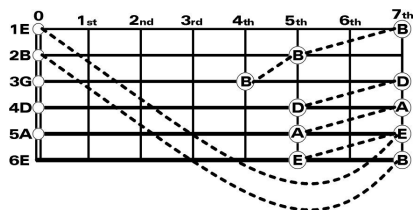
●4弦ベースの場合は、ギターの3~6弦のちょうど1オクターブ下ですから、次のようになります。

- ①第3弦の開放と第4弦の第5フレット(4E)
- ②第2弦の開放と第3弦の第5フレット(2D)
- ③第1弦の開放と第2弦の第5フレット(1G)



[ハーモニクス]

●ハーモニクス音は図で示された位置で弦に軽くふれ、弾弦すると音が出ます。ギターの場合は左図のように、ベースの場合は右図のようになります。実音でチューニングしたあとの微調整として活用してください。



*チューナーを使うことで、初心者の方でも正確にチューニングができます。チューニングの方法については、それぞれの製品に添付の説明書をお読み下さい。

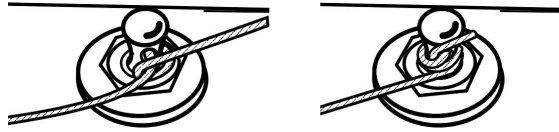
*使用しない期間が短い場合、弦はチューニングしたままでかまいません。長期間使用しない場合(1ヶ月以上)は糸巻のツマミを1~2回転分ゆるめておくとよいでしょう。ゆるめすぎたり、弦を外してしまうのは、楽器ためにかえってよくありません。

弦の巻き方

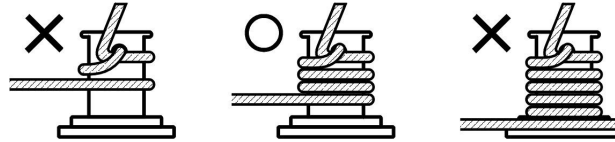
●エレキ、アコースティックギターの場合●

左右それぞれ、向かって内側より外側に巻き取ります。巻き付ける回数は1,2弦は6~8回、3,4,5,6弦の場合3~4回が適当です。

[低音側の取りつけ方]
[巻き上げた状態]

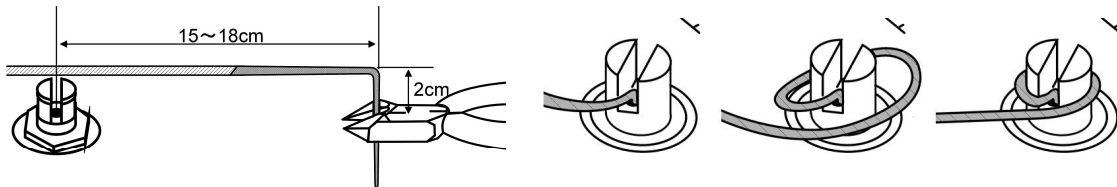


[巻き足りない]
[ポストに十分巻きついている]
[巻き過ぎている]



●ベースの場合●

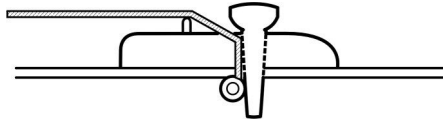
ベース用の糸巻にはポストの中心に弦の先端を収める穴があいています。弦は糸巻から15~18cmほど先で折り曲げ、その先2cmのところでカットします。折り曲げた部分を糸巻の穴に通した上で巻いてください。巻き回数は全弦とも3~4回が適当です。



●アコースティックギター:ブリッジ側

弦交換の際は必ず弦を十分にゆるめてから行ってください。弦を張ったままブリッジピンを抜くと、弦が飛び跳ねてケガをする恐れがあります。

アコースティックギターのブリッジは、図のような構造になっています。弦を取り外す際は、ニッパーまたは専用品などを用意し、ブリッジにキズが付かないよう注意してブリッジピンを抜き取ります。弦を取り付ける際は、弦のボールエンドが固定されるように、しっかりとブリッジピンを差し込んでください。



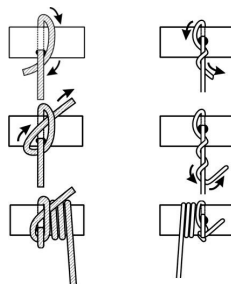
●クラシックギターの場合●

●糸巻き側

左右それぞれの向かって内側より外側に巻き取ってください。その際、極力本体と水平になるよう、ナット部を通し巻き取るよう注意してください。

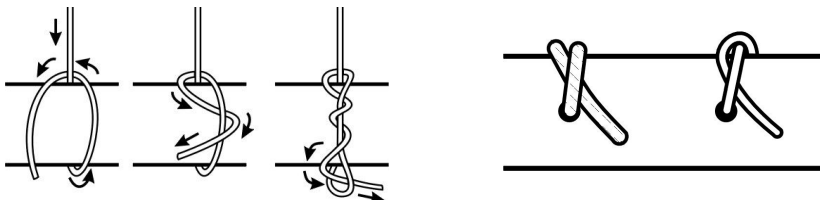
弦を巻き取る際、すべる場合がありますが、糸巻きについている小さな穴に弦の先端を入れた際、本体側より通してある弦と絡めるようにすると滑りにくくなります。

[高音弦の巻き方]
[低音弦の巻き方]



●ブリッジ側

弦の末端は図のようにしてブリッジに固定します。1弦は2回巻き付けて滑りにくくします。



* 弦の取り外しの際にナット、ブリッジサドルが外れる場合がありますが、故障ではありません。弦は1本ずつ交換してください。

コントロール

エレキギター／エレキベースのコントロール

エレキギターはピックアップで拾った弦の信号をノブで音を調整します。モデルによりコントロールの内容、組み合わせが異なっていますので、それぞれのコントロールの特性を理解した上でご使用下さい。

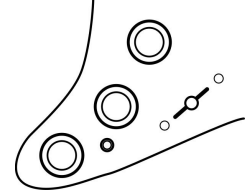
ボリューム: 音量を調整します。右に回すと音は大きくなり、左に回すと小さくなります。

トーン: 音質を調整します。左に回すと高音域がカットされ音質は柔らかくなります。

ピックアップセレクター: ピックアップの組み合わせを選択します。

コイルタップ・スイッチ: スイッチを入れると、ハムバックングPUのうち1つがキャンセルされ、シングルコイルPUのサウンドになります。

バランサー: 2つのピックアップの音量の割合を調整します。



エレКТリック・アコースティックギターのコントロール

ピエゾピックアップを内蔵したエレキ・アコースティックギターは、イコライザーによって音量と音質を調整します。

* ケーブルをジャックに差し込むと電源が入ります。演奏しないときはバッテリーの消費を防ぐため、ジャックからケーブルを抜いてください。

* 電池残量が少なくなると、音が小さくなる、ノイズが混じるなどの症状があらわれます。電池は早めに交換してください。

VOLUME : 全体の音量を調整します。

TREBLE : 高域の音質を調整します。

MIDDLE : 中域の音質を調整します。

BASS : 低域の音質を調整します。

PRESENSE/BRILLIANCE: 超高域の音質を調整します。

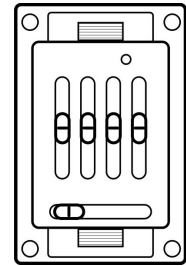
FREQUENCY/CONTOUR: MIDDLE で調整する周波数域を設定します。

PHASE : サウンドシグナルの位相を逆転させます。フィードバックが発生しているとき、音痩せを感じるときに使用します。

MUTE : 出力をミュートします。

NOTCH/SCOOP: 低域のフィードバックを抑えます。

BATTERY : 電池残量が少なくなると、LEDの明かりが弱くなります。フィッシュマン製イコライザーの場合、電池残量が少なくなると点灯します。



調整

ギターの調整にはある程度経験が必要ですので、ギターに慣れてきた頃に少しずつ行うと良いでしょう。

ネック調整(エレキギター/エレキベース/アコースティックギター)

ネックが反っていると、ピリつき、音程の狂い、弦高不良の原因となります。

●ネックの状態のチェックは、全ての弦を正しくチューニングして行います。

弦高が高くなっている状態を順反りといい、逆に弦高が低くなってピリつきやすくなっている状態を逆反りといいます。いずれの場合も、ネックの内部に埋め込まれているトラスロッドを締めたり、ゆるめるなどして調整します。

〔順反り〕〔逆反り〕

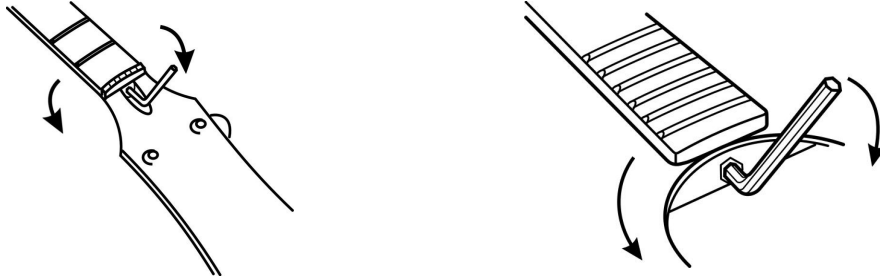


●トラスロッドを使用するときは、弦をゆるめてから行います。順反りの場合は締め、逆反りの場合はゆるめます。トラスロッドの調整位置はモデルによって異なります。それぞれ付属のレンチで調整してください。

*ヘッド側に内蔵されているタイプでは、アジャストカバーをはずしてから調整します。

*調整の際はしっかりとレンチを差し込み、トラスロッドのナットをつぶさないよう気を付けてください。

〔ゆるめる〕〔締める〕



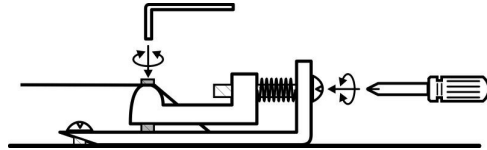
*一般的にクラシックギターにはトラスロッドが付いていません。ネックの調整は専門のリペアマンにご依頼ください。

弦高調整(エレキギター/エレキベース)

弦の高さを調整するには、付属のレンチを使って、弦が一本乗っているサドルを上下して行います。PE,TALLS,LLC タイプのギターは、マイナスドライバーを使い、ブリッジをボディに固定している2本のスタッドを上下してブリッジごと調整します。

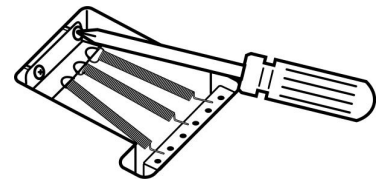
オクターブ調整(エレキギター/エレキベース)

12フレット上で弦に軽く触れながら弦を弾く音(ハーモニクス音)と、12フレットを押さえて出した音が同じ高さになるよう調整する必要があります。これをオクターブ調整といいます。この調整が正しく行われていないと、ローポジションとハイポジションを比べて音程が合わなくなります。この調整はプラスドライバーを使って、ブリッジの後ろのネジを回し、サドルを前後に動かして調整します。

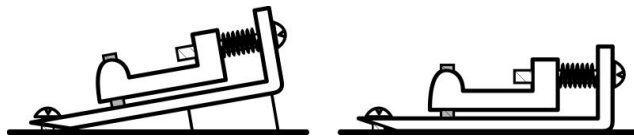


トレモロ Springs の調整 (エレキギター)

アームの動きが極端に固い場合には、ボディ内部のトレモロ Springs を調整します。トレモロブリッジの裏パネルを外し、Springハンガーを止めている2本のネジをドライバーで左に回すと、Springの張りは弱くなり、アームの動きが軽くなります。



*ネジを緩めすぎると、ブリッジの後端が持ち上がった状態になります(1)。ブリッジは(2)の状態が適正ですので、Springと弦の張りのバランスをとりながら、ブリッジの状態に注意して調整して下さい。



●それぞれの製品の詳細については、荒井貿易ホームページをご参照ください。

荒井貿易株式会社

<http://www.ariaguitars.com>